

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式(第2報以後)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年4月6日(第231報)

発信時刻 0時40分

経済産業大臣、福島県知事、猪苗町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏

連絡先 0240-25-4111(代)()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡猪苗町大字波倉字小浜作1-2	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23 年 3 月 14 日 21 時 58 分 15 日 0 00 分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当(□する) ■しない ■特定 福島第一原子力発電所の影響	
	想定される原因	□調査中	
その他特定事象の把握に参考となる情報	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主要な施設・設備の状況等	別紙を参照	
	被ばく者の状況 (確認時刻 0時00分)	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 ■無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 □有:	
	気象情報 (確認時刻 0時00分)	天候: 霧山 風向: 東 風速: m/s 大気安定度: II (10m)	
	周辺環境への影響	□無 □有: 調査中	
応急措置			

様式8-1 (2/4)

1号機 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 0 時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り, □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出, □停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) □放出, □停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 0 時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² [gage]) 上昇・下降 安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	25.5 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	500 mm 安定 燃料頂部から 92.96 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動)
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔壁弁の閉止	閉 閉
格納容器の隔壁状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力 →	2.4 (kg/cm ² [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 -23 °C → RHR (B) 系による除熱中

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 0 時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD / MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出 □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出 □停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 0 時00分)
→ 1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.94 (kg/cm ² ; MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットゲル) →	25.4 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6158 mm AHG 燃料頂部から 10346 mm →
外削電源	受電有/無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有/無
余熱除去系の機能維持	正常/異常
ECCS の作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	開/閉
格納容器の隔離状態	隔離/非隔離
格納容器圧力 ↘	2.7 (kg/cm ² ; kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 24 °C → R.H.R.(B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

3号機 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、☑無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.00 (kg/cm ² [MPa[gage]]) 上昇・下降(安定)制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	→ 32.9 °C 給水ノズル温度 RH R Hx(B)入口温度
原子炉水位	→ 3000 mm 燃料棒 燃料頂部から 7196 mm →
外部電源	受電有(無)
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCS の作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCS の作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の開止	閉(開)
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	→ 0.66 (kg/cm ² [kPa[gage]])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 ザブレッシュンプール水温度 27 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

4号機：【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 0 時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD / MTU
放射性物質の放出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上側で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input checked="" type="checkbox"/> 放出 <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 1m) <input checked="" type="checkbox"/> 放出 <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 0 時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.07 ($\text{kg}/\text{cm}^2(\text{MPa}[\text{gage}])$) 上昇・下降 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	→ 29.3 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 4200 mm (FC) 燃料頂部から 8396 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有り <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有り <input type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機組維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCS の作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 事前に作動防止
ECCS の作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒插入	插入 <input checked="" type="checkbox"/> 未插入 CR 10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉止 <input checked="" type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	隔離 <input checked="" type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力	→ 4 ($\text{kg}/\text{cm}^2(\text{kPa}[\text{gage}])$)
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の待避事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 32 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式B-1(3/4)
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(6 日 0 時 00 分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出総続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出総続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(6 日 0 時 00 分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 記入所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(5 日 23 時 30 分)						
排気筒モニタ							
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 4.7 cps, 2号機: 1.8 cps						
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.1 cps, 4号機: 4.4 cps Rw/B: 1.1 cps						

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	23 時 10 分	4.0	1.7	4.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
		$\mu\text{Sv/h}$							
	23 時 20 分	4.0	1.9	4.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
		$\mu\text{Sv/h}$							
	23 時 30 分	4.0	2.9	4.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
		$\mu\text{Sv/h}$							
	時 分		$\mu\text{Sv/h}$						
	時 分		$\mu\text{Sv/h}$						

可動地点		設備地点名							
	γ線空間線量率	時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
中性子線 空間線量率		設備地点名							
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
		時 分		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$		$\mu\text{Sv/h}$	
ヨウ素濃度		設備地点名							
		時 分		Bq/cm^3		Bq/cm^3		Bq/cm^3	
		時 分		Bq/cm^3		Bq/cm^3		Bq/cm^3	
		時 分		Bq/cm^3		Bq/cm^3		Bq/cm^3	
		時 分		Bq/cm^3		Bq/cm^3		Bq/cm^3	
		時 分		Bq/cm^3		Bq/cm^3		Bq/cm^3	
その他測定項目		設備地点名							
		時 分							
		時 分							
		時 分							
		時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

* MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、
γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値について11日1回12時00分の測定値を記載。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目		評価時刻(6 日 0 時 00 分)						
排気筒モニタ								
格納容器排気筒モニタ		排気筒名: 1号機 : 4.6 cps 2号機 : 4.0 cps						
補助建屋排気筒モニタ		排気筒名: 3号機 : 3.8 cps 4号機 : 3.7 cps						
		Rw/B : 3.8 cps						
固定式モニタリング設備地点								
γ 線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	時 分	4.0 μ Sv/h	3.0 μ Sv/h	4.4 μ Sv/h	3.3 μ Sv/h	3.3 μ Sv/h	3.3 μ Sv/h	-
	23 時 40 分							
	時 分	4.0 μ Sv/h	2.9 μ Sv/h	4.4 μ Sv/h	3.3 μ Sv/h	3.2 μ Sv/h	3.2 μ Sv/h	-
	23 時 50 分							
	00 時 00 分	4.0 μ Sv/h	3.0 μ Sv/h	4.4 μ Sv/h	3.3 μ Sv/h	3.3 μ Sv/h	3.3 μ Sv/h	-
可動地点								
γ 線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
中性子線 空間線量率	設備地点名							
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
	時 分	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	
白ウオ波度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	
その他測定項目								
項目	設備地点名							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

* MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、 γ 線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式（第2報以降）（原子炉施設）

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年4月6日(第232報)
発信時刻 6時35分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-26-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気供給) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作1-2	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第1号炉	
特定事象の発生時刻		平成23年 3月 15日 21時58分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (□する, ■しない) ■特定: 福島第一原子力発電所の影響	
	想定される原因	□調査中	
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	被ばく者の状況		
	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 6時00分)	■無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 □有:	
その他特定事象の把握に参考となる情報	気象情報 (確認時刻 6時00分)	天候: 雨木 風向: 方位 南西 風速: m/s (3) 大気安定度: (10m)	
	周辺環境への影響	□無 □有: 調査中	
	応急措置		

1号機

【原子炉の運転に關するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 6 時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD / MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出 □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出 □停止

2. 装置の状況

2. 装置の状況		確認時刻(4/6日 6時00分)
装置の状況		確認時刻(4/6日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→	0.05 (kg/cm ² MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	→	25.4°C 給水ノズル温度
原子炉水位	→	5150 mm (左端) 燃料頂部から 9346 mm →
外部電源		受電有(無)
非常用ディーゼル発電機運転		受電有(無)
余熱除去系の機能維持		正常(異常)
ECCS の作動・高圧系		作動(未作動) 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系		作動(未作動)
全ての制御棒挿入		挿入(未挿入)
ボロン添加		添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止		閉(開)
格納容器の隔離状態		隔離(非隔離)
格納容器圧力	→	2.2 (kg/cm ² kPa [gage])
格納容器スプレイ作動		作動(未作動)
その他の特記事項		冷温停止中 サプレッショングーレ水温度 -23 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(46日 6 時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年9月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD / MTU
放射性物質の放出の有無	□有り, □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出, □停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) □放出, □停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(*46日 6 時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm ² [MPa [gage]]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ) →	254.4°C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6150 mm STHC (正常) 燃料頂部から 11346 mm →
外部電源	受電有(無)
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	正常(異常)
ECCS の作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉(開)
格納容器の隔離状態	隔離(非隔離)
格納容器圧力 ↓	2.4 (kg/cm ² [kPa [gage]])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 24 °C → RHR (B) 系による除熱中

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4月6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input checked="" type="checkbox"/> 放出 <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input checked="" type="checkbox"/> 放出 <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況		確認時刻(4/6日 6 時00 分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→	0.00 (kg/cm ² [MPa [gage]])
1次冷却系の温度(ボットレグ)	→	32.7°C 給水ノズル温度 RHR (Hx0) 入口温度
原子炉水位	→	3000 mm SHC 燃料頂部から 7176 mm →
外部電源		受電有無
非常用ディーゼル発電機運転		受電有無
余熱除去系の機能維持		正常・異常
ECCS の作動・高圧系	作動(未作動)	事前に作動防止
ECCS の作動・低圧系	作動(未作動)	事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)	
ボロン添加	添加(未添加)	
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 閉	
格納容器の隔離状態	隔離(非隔離)	
格納容器圧力	→	0.45 (kg/cm ² [kPa [gage]])
格納容器スプレイ作動		作動(未作動)
その他の特記事項		冷温停止中 サプレッショングブル水温度 27 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り, <input type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input checked="" type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input checked="" type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況		確認時刻(4月6日 時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→	0.07 (kg/cm ² MPa [gage]) 上昇・下降 安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ)	→	29.6 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→	4200 mm SFC 燃料頂部から 8376 mm →
外部電源		受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転		受電有 (無)
余熱除去系の機能維持		正常/異常
ECCS の作動・高圧系		作動 (未作動) 事前に作動防止
ECCS の作動・低圧系		作動 (未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入		挿入 (未挿入) CR 1.0-19 ドリフト管被堵生中
ボロン添加		添加 (未添加)
主蒸気隔壁弁の閉止		(閉) 閉
格納容器の隔壁状態		隔壁・非隔壁
格納容器圧力	→	6 (kg/cm ² kPa [gage])
格納容器スプレイ作動		作動 (未作動)
その他特記事項		冷温停止中 サプレッションプール水温度 29 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(6 日 6 時 00 分)
評価時刻での放出量(放出率)	
希ガス(Bq/h)	
ヨウ素(Bq/h)	
総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度)	
希ガス(Bq/cm ³)	
ヨウ素(Bq/cm ³)	
総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	
放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測)	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(6 日 6 時 00 分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3: 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	計測時刻(6 日 6 時 30 分)						
排気筒モニタ							
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 4.8 cps 2号機 4.2 cps						
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 4.0 cps 4号機 5.2 cps						

Rw/B : 3.6 cps

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	5 時 10 分	4.0 μSv/h	2.9 μSv/h	4.3 μSv/h	3.3 μSv/h	3.2 μSv/h	3.2 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	5 時 20 分	4.0 μSv/h	2.9 μSv/h	4.3 μSv/h	3.3 μSv/h	3.2 μSv/h	3.2 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	5 時 30 分	4.0 μSv/h	2.9 μSv/h	4.3 μSv/h	3.3 μSv/h	3.2 μSv/h	3.2 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名					
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率		設備地点名					
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度		設備地点名					
	時 分	Bq/cm ³					
	時 分	Bq/cm ³					
	時 分	Bq/cm ³					
	時 分	Bq/cm ³					
	時 分	Bq/cm ³					
その他測定項目		設備地点名					
項目	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

* MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、
γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(6 日 6 時 00 分)						
排気筒モニタ							
格納客船排気筒モニタ	排気筒名: 1号機	4.4	cps	2号機	4.0	cps	
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機	4.0	cps	4号機	5.2	cps	
	Rw/B	3.5	cps				

固定式モニタリング設備地点

γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	時 分	μSv/h						
	5 時 40 分	4.0	2.9	4.3	3.3	3.2	3.2	
	5 時 50 分	4.0	2.9	4.3	3.3	3.2	3.2	
	6 時 00 分	4.0	2.9	4.3	3.3	3.2	3.2	
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	

可動地点

γ線空間線量率	設備地点名					
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名					
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名					
	時 分	Bq/cm ³				
	時 分	Bq/cm ³				
	時 分	Bq/cm ³				
	時 分	Bq/cm ³				
その他測定項目	設備地点名					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

*上部項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングボストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。

異常事態連絡様式（第2報以降）（原子炉施設）

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 4月 6日 (第233報)
発信時刻 12時30分

経済産業大臣、福島県知事、柏葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第一号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 3月 14日 21時58分 15日 00分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力緊急事態に該当 (□する, ■しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
その他の特定事象の把握に参考となる情報	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主要な施設・設備の状況等	別紙を参照	
	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 喪救助者 名 汚染拡大の有無	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 天候 晴れ 風向 東 風速 m/s 7.4 大気安定度 (10m)	
	周辺環境への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中	
	応急措置		

様式8-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合記入)
排気筒出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 12時00分)
→ 1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	25.3 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 5150 mm 5166 燃料頂部から 9346 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動)
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉(開)
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	→ 2.2 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングーピール水温度 23 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(16日 12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出 □停止
放出口以外(放出口所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出 □停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(16日 12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.03 (kg/cm ² [gage]) ↑ 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	25.4°C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6150 mm SHC (法棒) 燃料頂部から 10346 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常 悪常
ECCS の作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔壁弁の閉止	閉 閉
格納容器の隔壁状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力 →	2.4 (kg/cm ² [gage])
格納容器スフレイ作動	作動(未作動)
その他の備考事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24°C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、○無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.00 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇・下降 安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	→ 32.7 °C 給水ノズル温度 RHR Hx (B) 入口温度
原子炉水位	→ 3000 mm 在帯域 燃料頂部から 7196 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常 異常
ECCS の作動・高圧系	作動 未作動 事前に作動防止
ECCS の作動・低圧系	作動 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入 未挿入
ボロン添加	添加 未添加
主蒸気隔壁弁の閉止	閉 開
格納容器の隔壁状態	隔壁 非隔壁
格納容器圧力	→ 0.5 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 ザブレッショングール水温度 27 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式3-1 (2/4)

4号機 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り, □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒出口	□放出, □停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) □放出, □停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.07 (kg/cm ² /MPa[gage]) ↑ 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	29.7°C 給水ノズル温度
原子炉水位	4300 mm SHC 燃料頂部から 8496 mm ↑
外部電源	受電有無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入) CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉(開)
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	8 (kg/cm ² /kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングーレ水温度 30°C ↑ RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(6日 12時 00分)
評価時刻での放出量(放出率)	
希ガス(Bq/h)	
ヨウ素(Bq/h)	
総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度)	
希ガス(Bq/cm ³)	
ヨウ素(Bq/cm ³)	
総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	
放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測)	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(6日 12時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がかかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(△日 11時 30分)						
排気筒モニタ							
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 4.2 cps 2号機: 7.1 cps						
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 2.1 cps 4号機: 5.3 cps						
	Rw/B: 3.3 cps						

固定式モニタリング設備地点

測定項目	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
		11時 10分	4.0 $\mu\text{Sv/h}$	2.9 $\mu\text{Sv/h}$	4.3 $\mu\text{Sv/h}$	3.3 $\mu\text{Sv/h}$	3.2 $\mu\text{Sv/h}$	3.2 $\mu\text{Sv/h}$
γ 線空間線量率	11時 20分	4.0 $\mu\text{Sv/h}$	2.9 $\mu\text{Sv/h}$	4.3 $\mu\text{Sv/h}$	3.3 $\mu\text{Sv/h}$	3.2 $\mu\text{Sv/h}$	3.2 $\mu\text{Sv/h}$	-
	11時 30分	4.0 $\mu\text{Sv/h}$	2.9 $\mu\text{Sv/h}$	4.3 $\mu\text{Sv/h}$	3.3 $\mu\text{Sv/h}$	3.2 $\mu\text{Sv/h}$	3.2 $\mu\text{Sv/h}$	-
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv/h}$						
	時 分	$\mu\text{Sv/h}$						

可動地点

測定項目	設備地点名	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
		時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
γ 線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
ヨウ素濃度	設備地点名						
	時 分	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3
その他測定項目	設備地点名						
	時 分						
項目	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

*上記項目については、情報を得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

* MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可換型モニタリングポストを設置し、 γ 線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(6 日 12 時 00 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 4.4 cps 、 2号機: 8.0 cps
補助逃屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.0 cps 、 4号機: 5.3 cps Rw/B: 1.1 cps

固定式モニタリング設備地点	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	時 分	μSv/h						
γ線空間線量率	11時40分	4.0	2.9	4.3	3.3	3.2	3.2	
	11時50分	4.0	2.9	4.3	3.3	3.2	3.2	
	12時00分	4.0	2.9	4.3	3.3	3.2	3.2	2.3
中性子線 空間線量率	時 分	μSv/h						
	時 分	μSv/h						

可動地点	設備地点名					
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名					
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名					
	時 分	Bq/cm ³				
	時 分	Bq/cm ³				
	時 分	Bq/cm ³				
	時 分	Bq/cm ³				
その他測定項目	設備地点名					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、
γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。

2011/04/06 19:26 TO 原子力安全・保安院 緊急聯絡2

FROM 内閣府 災害応急対策担当

No. 06045 01 Page

11年04月06日(水) 19時23分 宛先: FAX-音マークシート

発信: 内閣府 災害応急対策担当

R:003 P.02

2011年 4月 6日 18時59分 原子力施設・品質安全部

No. 5683 P. 1

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式(第2報以降)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 4月 6日 (第234報)
発信時刻 18時59分

経済産業大臣、福島県知事、猪苗町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長、増田 尚宏
連絡先 0240-26-4111(代)([REDACTED])

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡猪苗町大字波倉字小浜作12	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第一号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 3月 15日 21時 58分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (□する, ■しない) <input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響	
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 調査中	
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照		
	被ばく者の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 18時00分)	天候: 晴れ 風向: 方位 南 風速: m/s 9.8 大気安定度: D (10m)	
	周辺環境への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中	
	応急措置		

2011/04/06 19:26 TO 原子力安全・保安院 緊急時対応

FROM 内閣府 災害対応課担当

No. 06045

02 Page

11年04月06日(水) 19時23分 発送: FAX-音マークシート

発信: 内閣府 災害対応課担当

R:003

P: 03

2011年 4月 6日 19時00分 原子力技術・保安部

No. 5683 P: 2

様式8-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 18時 00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り, □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒出口	□放出, □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出, □停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 18時 00分)
→ 1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm ² ・MPa[gage]) 上昇: 下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	25.4°C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5150 mm SNC (2000) 燃料頂部が B 9346 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動)
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入)
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉 關
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力 →	2.4 (kg/cm ² ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サブリッシュンプール水温度 23 °C → R.H.R (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2011/04/06 19:26 TO 原子力安全・保安院 緊急概況2

FROM 内閣府 災害応急対策担当

No. 06045

03 Page

11年04月06日(水) 19時24分 発送: FAX-青マークシート

発信: 内閣府 災害応急対策担当

R:003 P. 04

2011年 4月 6日 19時00分 原子力技術・品質安全部

No. 5683 P. 3

様式8-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するペラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input checked="" type="checkbox"/> 放出、 <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口所名)	放出場所名: (地上高 m) <input checked="" type="checkbox"/> 放出、 <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.04 (kg/cm ²) (MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	25.4°C 給水ノズル温度
原子炉水位	6150 mm (体積) 燃料頂部から 10346 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCS の作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力	2.0 (kg/cm ²) (MPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サブリッシュンプール水温度 24°C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2011/04/06 19:26 TO 原子力安全・保安院 緊急時対応2

FROM 内閣府 災害応急対策担当

No. 06045 04 Page

11年04月06日(水) 19時24分 発送: FAX一覧マークシート

発信: 内閣府 災害応急対策担当

R:003 P.05

2011年 4月 06日 19時00分

原子力技術・品質安全管理部

No. 5683 P. 4

様式8-1 (2/4)

9号機 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 19時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 19時00分)
→ 1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.00 (kg/cm ² [MPa[gage]]) 上昇・下降 安定 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	36.5 °C 給水ノズル温度 RH 2 Hx(B) 入口温度
原子炉水位	3000 mm SHC (水位計) 燃料頂部から 7196 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常 標常
BCCSの作動・高圧系	作動 未作動 事前に作動防止
BCCSの作動・低圧系	作動 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入 未挿入
ボロン添加	添加 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉 開
格納容器の隔離状態	隔離 非隔離
格納容器圧力	2.26 (kg/cm ² [kPa[gage]])
格納容器スプレイ作動	作動 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 26 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2011/04/06 19:26 TO 原子力安全・保安院 緊急聯絡2

FROM 内閣府 災害応急対策担当

No. 06045 05 Page

11年04月06日(水) 19時24分 発先: FAX-青マークシート

発信: 内閣府 災害応急対策担当

R:003 P. 06

2011年 4月 6日 19時00分

原子力技術、品質安全部

No. 5603 P. 5

様式B-1 (2/4)

4号機 【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(4/6日 19時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り, □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出ロ	□放出, □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出, □停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(4/6日 19時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.07 (kg/cm ² [MPa[gage]]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ)	→ 30.3 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 4350 mm SHC (底面) 燃料頂部から 8546 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 寒前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 寒前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入(未挿入) CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉 閉
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	→ 8 (kg/cm ² [kPa[gage]])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 30 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2011/04/06 19:26 TO 原子力安全・保安院 緊急勘定2

FROM 内閣府 災害応急対策担当

No. 06045 06 Page

11年04月06日(水) 19時24分 発: PAX一時マークシート

発信: 内閣府 災害応急対策担当

R:003 P.07

2011年 4月 6日 19時00分 原子力技術・品質安全管理部

No: 5603 P. 6

様式3-1(3/4)

【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(6月 18時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出終結時間(h) 放出開始時間	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(6月 18時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点				
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(被ばく側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

2011/04/06 19:26 TO 原子力安全・保安院 緊急対策室2

FROM 内閣府 災害応急対策室

No. 06045

07 Page

11年04月06日(水) 19時24分 発送: FAX一斉マークシート

発信: 内閣府 災害応急対策室

R:003 P.08

2011年4月6日 19時00分 原子力安全・保安部

No. 5683 P. 7

様式8-1(4/4)

B. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなつた場合は新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料を添付することとする。

項目		評価時刻(6 日 17 時 30 分)
排気筒モニタ		
核電空気排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 4.8 cps 2号機: 4.1 cps	
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 31.7 cps 4号機: 5.0 cps	Rw/B: 2.5 cps

固定式モニタリング設備地点							
設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
17 時 10 分	3.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	4.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.1 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	-
17 時 20 分	3.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	4.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.1 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.1 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	-
17 時 30 分	3.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	2.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	4.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.1 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	3.1 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	-
時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$

可動地點		設備地點名					
γ線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
ヨウ素濃度	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
その他測定項目	設備地點名						
項目	時 分	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3
	時 分	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3
	時 分	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3
	時 分	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3
	時 分	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(指定値を含む)を記載することも可とする。

＊MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、

γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。

2011/04/06 19:26 TO 原子力安全・保安院 緊急時統2

FROM 内閣府 災害応急対策担当

No. 06045 08 Page

11年04月06日(水) 19時24分 対象: FAX-齐マークシート

発信: 内閣府 災害応急対策担当

R: 003 P. 09

2011年 4月 6日 19時00分 原子力技術・品質安全部

No. 5683 P. 8

様式B-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 現所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(6 日 18 時 00 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 4.6 -cps, 2号機: 3.9 -cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.7 -cps, 4号機: 5.3 -cps RW/B: 3.8 -cps

固定式モニタリング設備地点	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
		17時40分	3.9 - $\mu\text{Sv/h}$	2.9 - $\mu\text{Sv/h}$	4.2 - $\mu\text{Sv/h}$	3.2 - $\mu\text{Sv/h}$	3.1 - $\mu\text{Sv/h}$	3.1 - $\mu\text{Sv/h}$
γ 線空間線量率	17時50分	3.9 - $\mu\text{Sv/h}$	2.8 - $\mu\text{Sv/h}$	4.2 - $\mu\text{Sv/h}$	3.2 - $\mu\text{Sv/h}$	3.1 - $\mu\text{Sv/h}$	3.1 - $\mu\text{Sv/h}$	-
	18時00分	3.9 - $\mu\text{Sv/h}$	2.8 - $\mu\text{Sv/h}$	4.2 - $\mu\text{Sv/h}$	3.2 - $\mu\text{Sv/h}$	3.1 - $\mu\text{Sv/h}$	3.1 - $\mu\text{Sv/h}$	-
時 分	時 分	$\mu\text{Sv/h}$						
	時 分	$\mu\text{Sv/h}$						

可動端点	設備地点名					
		時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
γ 線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
	時 分	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
ヨウ素濃度	設備地点名					
	時 分	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3	Bq/cm^3
その他測定項目	設備地点名					
	時 分					
項目	時 分					
	時 分					
時 分						

※上記項目については、情報を得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

* MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、 γ 線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。